

ASSIC ウガンダ支援レポート

募金箱でいただいた寄付金で、ウガンダの小学校に物資を届けました。
皆様のご協力に感謝いたします。

ASSIC（NPO 法人アフリカ支援国際センター）の活動として、2013年3月18日～27日、ASSICの理事、サリ・ビック・ルクワゴ氏がウガンダの小学校（学校名：Pride Winners Junior School, 於 Busaabala, Kampala, Uganda）にペットボトル型ろ過器 50 個、蓄電インバーター & ソーラーパネル各一台、文房具（鉛筆 180 本、消しゴム 130 個他）を届けました。



<校長、ペロニカさんとサリ理事>



<届いた物資を説明するサリ理事>

2012年、3月に ASSIC の他の理事 2 名（日本人）が初めてこの小学校を訪れたとき、児童たちは歓迎のダンスと満面の笑顔で迎えてくれました。しかし、児童をとりまく環境は日本の小学校とは比較にならないものでした。もちろん電気は通っておらず、水道も設置されていません。孤児たちは有毒ガスを発生するランプを使って薄暗い寮で寝泊りし、水は近くの湖から直接飲用していました。教科書も学校全体で数十冊しかなく、教室の床は土、給食は大なべを使って蒔で料理していました。帰国後、理事の報告を聞き、ASSICとして、すべてをすぐに変えることができないけれど、できることから始めようとまずは電気や水を整えることから支援が始まりました。

ペットボトル型ろ過器で汚い水を飲んでいた児童たちがろ過された飲み水を



<使い方を説明するサリ理事>



<使用する児童 1 >



<使用する児童 2 >



<ペットボトル型ろ過器>

蓄電インバーター & ソーラーパネルで、真っ暗な孤児用の小学校寮が夜も明るく。有毒なガスを発生するランプの生活から LED 電球へ。



<スクールのスタッフと設置中>



<屋根に取り付けられたソーラーパネル>



<明るくなった小学校寮>



<LED 電球は 6 W が二つ。2 部屋に明かりがとりました>

ASSIC は少しずつ、できることから実現させ、支援を続けていきます。皆様、本当にありがとうございます。 これからもよろしくお願いいたします。